

附属機関等の会議結果の公開 様式

会議名	令和3年度第1回愛荘町立図書館協議会 会議結果(概要)
開催日時	令和3年(2021年)5月26日(水) 午後7時30分～午後8時45分
開催場所	愛知川図書館
出席者	西澤基治会長、安孫子雅城副会長、大辻登代子委員、小川寿晴委員、辰巳和美委員、辻野ミ子委員、野村仁美委員、西村知子委員
事務局	教育長 徳田寿、教育次長 上林市治、図書館長 茶谷えりか、図書館参事 小川亜希子、図書館課長補佐 下村今日子、三浦寛二、図書館司書 諫山美奈、南 彩香、梅本都子
傍聴者	0人
議題	(1) 前年度図書館利用状況、行事实施状況、今年度行事予定について (2) まちじゅう読書の推進について
審議内容	<p>(教育長挨拶)</p> <p>図書館協議会委員の皆様には日ごろより教育行政、また図書館にご指導ご協力いただき、感謝申し上げます。</p> <p>まず、悲しいお知らせがございます。図書館協議会委員を務められていた村田 賢司さんが今年4月にご逝去されました。ここに故人を追悼し、黙とうさせていただきます。</p> <p>(黙とう)</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>さて、愛荘町では、教育大綱を制定するほか、教育基本計画の改訂を行いました。本によって交流を深めるとともに、にぎわいを創出し、まちじゅう読書の推進を行うことを目的としています。また、図書館機能の充実、ICTを活用した教育の推進、地域資料の収集を挙げ、魅力的な図書館づくりへとつなげることを目指しています。</p> <p>図書館協議会委員の皆様には読書活動の推進や教育行政につながる、活発なご議論を期待しています。</p> <p>(事務局)</p> <p>(出席職員の紹介)</p> <p>愛荘町立図書館協議会は、愛荘町立図書館条例および愛荘町立図書館協議会規則により運営されております。これによると、「会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。」とあり、委員9名のうち本日のご出席は8名であり、会議が成立しております。それでは、会長と副会長に議事進行をお願いします。</p> <p>(会長)</p> <p>それでは議案1、前年度図書館利用状況、行事实施状況、今年度行事予定について事務局よりお願いします。</p>

(事務局)

昨年度の愛知川図書館は新型コロナウイルス対策として、4月18日から5月12日まで休館しました。その後、感染症対策を実施しながら開館しましたが、おはなしかいなどの行事は休止または対象人数を制限しての開催となりました。今年度も小さなお子さんの参加されるおはなしかいは様子を見るため休止としますが、古文書を読む会など可能な範囲で行事を再開し、来館しての利用に対応できるよう努めています。

(事務局)

秦荘図書館でも昨年度は行事を制限しましたが、今年度より希望の日程と時間をお伺いして実施する「オーダーメイドおはなしかい」を開催しています。また、あたまいきいき音読教室は、壁に向かって音読をするなど可能な方法を模索し、今年5月から再開しました。

学校図書館は、昨年度より小学校の学校図書館に週5日、学校図書指導員が配置されました。昨年度は各校で新型コロナウイルスの対策を模索しながら開館した結果、秦荘東小学校は学年で図書室の利用時間を分けたため、貸出冊数が減少しましたが、そのほかの小学校では貸出冊数が大幅に増加しました。昨年度は特に年度初めの人手の確保に苦労しましたが、今年度は4月より各校に図書指導員が配置されています。

(事務局)

びんてまりの館では、昨年度は3つ予定していたうち2つのびんてまり教室を休止しました。展示会は長谷川義史さんの絵本原画展を、感染症の対策を行いながら実施しました。今年度は昨年休止したのものも含め、びんてまり教室を開催する予定です。

(委員)

資料には学校図書館の貸出冊数が載っていますが、学校図書館の役割としては貸出だけでなく、授業の支援など本を借りる以外の目的もあると思う。入館者数など、貸出以外の統計を取ることはできないでしょうか。

(事務局)

学校図書館に指導員が配置されていなかった昨年度以前の統計を取るのは困難でした。学校図書館の利用には、教室に行くことが困難な児童が学校図書館に来ることや、テストが早く終わって読書に来る児童のほか、先生が図書室の利用を勧めるケース、特別支援学級が定期的に図書室を活用するケースなど様々な例があり、図書指導員には適切に対応していただいています。

中学校の学校図書館の開館は従来週1回でしたが、今年度より週2回の開館を実施する予定です。中学校の学校図書館を見ていると、学年を超えて交流ができる、憩いの場としても機能しているようです。

(委員)

読み聞かせボランティアの月のくまさんのメンバーとして小学校を回っていて、学校図書館の変化にとっても嬉しく思っています。子どもたちは授業が始まる前に学校図書館に行くことができ、読書の活気を感じられます。

(委員)

登校の見回り時に、本を抱えて登校する児童が増えたように思えます。読書の習慣が身につく、読み聞かせの反応も楽しさがより伝わっているように思います。

(委員)

幼稚園、保育園や子育て支援センターでも読み聞かせをしています。小さなころから読書になじんでいるように思います。

(委員)

学校図書指導員ですが、授業中にも児童が学校図書館に来る、とのことですが、担任の先生との連携はしていますか。学校での対応には守秘義務も必要になるとは思いますが、いかがですか。

(事務局)

授業中の来館時には用件を必ず確認し、担任や職員室にいる先生に連絡するようにしています。また、守秘義務については、採用時をはじめ随時説明しています。

(教育長)

学級担任の役割は非常に大きい。ボランティアの方が読み聞かせをしている際に、児童と一緒におはなしの時間を共有しているか、他のことをしているかで担任の力が問われてくる。学校全体で本好きの雰囲気を醸成したい。

(委員)

学校図書館について、当初は人を配置し学校図書館を開館し、改善することが目的だったように思う。その成果は出てきたが、学校図書館ならではの意味、ありがたが重要になってくるのではないかと。図書指導員さんもそうだが、学校の子どもたちとのナイーブな関りがあるのなら、学校の機能の中で学校図書館をどう位置づけるかが重要になるとは思います。そうすると、学校図書館と先生を結ぶ専門の、職員会議にも参加し、学校や授業の運営にも積極的にかかわるような人材として読書と教員としてのコーディネーター役の職員を置くことを検討してはいかがでしょうか。

(教育長)

理想としてはとても素晴らしいですが、町費としては難しいです。町単独で配置している職員の整理統合の中で、愛荘町の特色ある教育の土台として、長い目で考えたいです。

(会長)

次に、議題 2、まちじゅう読書の推進についてお願いします。

(事務局)

まちじゅう読書の推進や図書館活動について、ご意見をお聞かせください。

(委員)

地域に外に出歩けないお年寄りの方がいます。施設への図書の貸出や、図書館からの郵送貸出、あるいは代理で借りに行くことは可能でしょうか。

(野村委員)

図書館や各施設を巡回するバスを走らせるのはいかがでしょうか。

(委員)

まちじゅうライブラリーの申請をして自宅に開設していますが、靴を脱いで利用するには抵抗があるようです。

(事務局)

代理の貸出はケースバイケースで判断していますので、まずは図書館へご相談ください。町としても字でのささえあいを推奨していますので、できる限り可能となるよう図書館としても対応します。郵送の貸出は、返却の際に郵便局に行くことを考えると、町内に 2 館ある図書館に来ていただきたいということもあり、実施は難しいと思います。また、図書館が愛のリタクシーの停留所となっていますので、ご活用いただければと思います。

施設へは団体貸出での貸出となります。また、字の老人会や施設に出向いて高齢者向けのおはなしかいや、音読教室を実施しています。

(辻野)

団体貸出でお借りした本をさらに個人の方へ貸出することは可能でしょうか。

(事務局)

団体貸出は団体への貸出となります。その本を個人へ貸出しを行うことは、責任の所在があいまいになりますので、避けていただければと思います。

(委員)

まちじゅうライブラリーの本は貸出可能ですか。

(館長)

まちじゅうライブラリーの本は自由に活用していただいて構いません。

(野村)

多くの本から選びたいので、出張図書館付きの高齢者向けおはなし会は実施できませんか。

(事務局)

出前図書館で多数の本を持参したいですが、実際には困難なところですが。例えば東円堂の公民館には、図書館からまちじゅう読書としてお渡しした本を公民館に展示していますので、このような形で活用していただければ、と思います。

(副会長)

代理の貸出は貸出カードがあれば可能ですか。実例はありますか。

(事務局)

図書館としては貸出カードをご持参された方に貸出をしています。また、来館が困難で代理でご利用されている方もいらっしゃいます。

(教育長)

各々の字の公民館をインターネットで結んで、本の紹介を行うことも今後は考えなければならないかな、と思います。本を通じた交流や、貸出しのサポートへつなげたいです。

(委員)

地域の支えあいをどうするか、というのは字にとっても重要な課題です。買い物に行けない高齢者を、目加田では支えているそうです。そのような地域づくりが大切かな、と思います。私も、栗田の地域サロンで「だじゃれ日本一周」を読んだりしています。

本を借りるのは、本を読む、という気持ちがないと難しい。個人差がある中で、本の楽しさを伝えるきっかけを図書館で伝えてほしいと思います。

(委員)

地域やお寺の行事を見ていると、地域の力はまだまだあるな、と感じます。

(副会長)

例年ボランティア団体「ほんてつ」主催で開催しているビブリオバトルですが、今年度はコロナ対策として据え置き型で開催する予定です。ビブリオバトルの共催についてお願いします。

(委員)

ビブリオバトルの日程や内容は今後さらに検討します。

(委員)

よく「本を書庫からお持ちします」と言われますが、書庫は見学できないでしょうか。

(事務局)

秦荘地区の小学3年生は図書館見学で書庫見学の時間を設けています。

(事務局)

本をストックしておく場所で、安全面から一般の方の入場はお断りしています。一般の方に機会を設けて見ていただくのは今後の課題とさせていただきます。

(委員)

教育委員会の配布するレジュメの上下に「減メディア・親読書」と入れてあり、このような地道な取り組みが読書のまちづくりにつながる、良い取り組みと思います。

先日、「あそぶっくらぶ」として、どうぞの本だなの企画を愛知川図書館で開催しました。子どもも頑張ってくれて、すでに多くの感想が張られていて、最初の本とは異なる本となりつながりを感じました。

(委員)

読書会の高齢化が進んでいます。みなさんからは、町議会の議員さんや、町長さん、教育長さんの読んでいる本が知りたい、という声がありますので、また紹介してください。

(事務局)

今年度も読書記録「読書でガチャコン」を実施しますので、ぜひご参加ください。

愛荘町の図書館、読書活動は、みなさんのお力で成り立っています。図書館だけの力では決して実現できません。今後ご協力をお願いします。

次回開催日ですが、11月17日水曜日でいかがでしょうか。

(異議なし)

では、次回は秦荘図書館での開催予定です。

	<p>(館長)</p> <p>今年度、愛知川図書館・ゆうがくの郷のトイレの改修工事を予定しています。 ご迷惑をおかけします。</p> <p>(会長)</p> <p>庁舎統合の話もありますが、先日町長とお会いした時に、図書館は一本化する予定はない、話されていました。図書館は地域に人々にとって必要な施設であるということを今後も伝えてゆきたいです。</p> <p>それでは、これで終了します。</p>
問い合わせ先	愛知川図書館 連絡先 0749-42-4114